



警告

ベースメーカを使用されている方は本器を使用しないでください。磁力によりベースメーカの誤作動を誘発する可能性があります。



注意

- ・本器をフロッピーディスクやその他磁気記憶装置に近づけないでください。磁力によりデータが消去されることがあります。
- ・マグネットベースを吸着させる面の材質、厚さ、面粗さ、塗装などの状態により吸着力は減少します。
- ・マグネットベースの吸着面に傷や錆がありますと吸着力は減少します。
- ・本器を落下させたり、ぶつかけたりすると破損や作動不良に原因となります。
- ・マグネットの吸着力低下を防止するため、強力な磁力を持っているトランスや脱磁器等の近くでは使用しないでください。
- ・使用しない時は、マグネットをOFFにしておいてください。
- ・性能確保のためマグネットベースは分解しないでください

1. 特長

本マグネチックスタンドは、てこ式ダイヤルゲージ(弊社のテストインジケータ)などの軽量、低測定力タイプの取り付けを主目的とした測定治具です。

- ・ベースにはマグネットを採用しており、縦・横・逆さの位置に、またV溝により、円筒状のものにも確実に固定させることができます。
- ・柱はワイヤの張力により任意の位置にロックできます。

2. 各部の名称(図1参照)

- マグネットベース
- レバー
- ハンドル
- ワイヤ調整金具
- 柱
- 調整スリーブ
- 廻り止めナット
- 取付ホルダ
- 締め付けナット
- プッシュ
- 止め輪

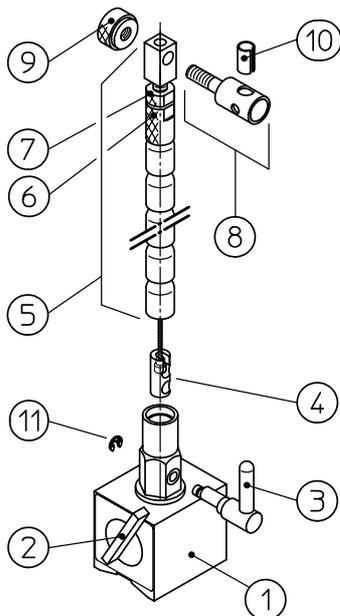


図1

3. 使用方法

ハンドル位置によるクランプの機能はご使用前に把握しておいてください。(図2参照)

- 1) ハンドルがフリー位置にあり、調整スリーブと回り止めナットが密着していないことを確認してください。
- 2) 柱を固定するために調整スリーブを回し、ハンドルクランプ位置で柱を固定できる状態に仮調整します。(図3参照)
- 3) 測定器のステムを取付ホルダの穴に差し込み、締め付けナットで仮固定します。
- 4) 測定箇所へ測定器の先端(測定子)が届くようにマグネットベースを移動させ、マグネットベースのレバーをONにして吸着させます。
- 5) 柱の屈曲度合い及び測定器の姿勢は、調整スリーブを回しながらハンドルクランプ位置で柱が固定できるように調整します。(図4参照)
- 6) 回り止めナットを回して調整スリーブに密着させて緩みを防止します。
- 7) 測定箇所へ測定器を適切な姿勢で接触させることが確認できたら、締め付けナットで測定器を固定し、クランプ位置にハンドルを回して柱を固定します。

重要

- ・ステム長が16mmに満たない測定器を固定する場合には、傾いた姿勢になることが予想され、確実に固定できない場合があります。
- ・測定誤差を最小限に抑えるため、測定器の取扱説明書なども参照して適切な姿勢で固定してください。
- ・ハンドルを緩める際は、装着している測定器を手を持って操作してください。

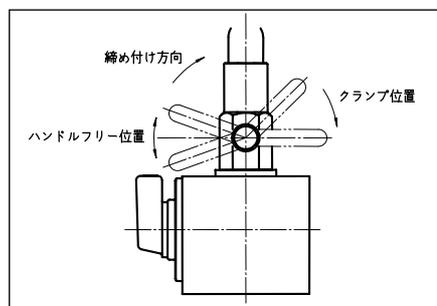


図2

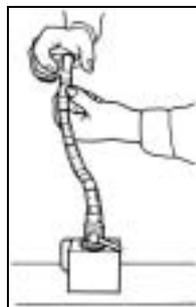


図3

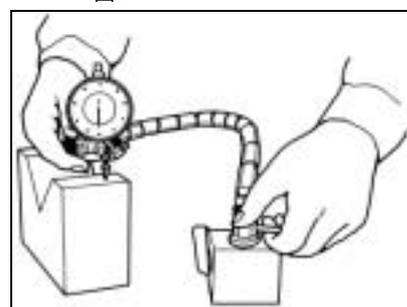


図4



注意

- ・柱をロックした状態で無理な調整をしないでください。クランプ用ワイヤ破損の原因となります。
- ・柱固定時に過度の力でハンドルを操作しないでください。クランプ用ワイヤ破損の原因となります。

4. 保守パーツ

パーツ番号	品名	備考
02AZC410	柱組立	図1の(、含む)一式

ご使用中にワイヤが切れた場合の交換手順を以下に説明します。

- 1) 図1の、をとり外します、
- 2) をベンチ等で外してを抜き取ります。
- 3) から一式を取り外し、交換用の柱組立をに装着し、逆の手順で元の状態に戻します。

5. 製品仕様

コード番号	適用ステム径	質量	吸着力
7012-10	6mm, 8mm, 9.53(3/8")	1.4kg	600N